

科目区分	専門科目(必修科目)			
授業名	運営管理		担当講師	
内容 (授業概要)	経営者の考え方や経営者が果たす責任・役割、人を雇うこと の責任について学ぶ。また、顧客を満足させるサービスと は何か、それをどう実現できるかを考える力を養う。		学科	美容学科
			学年クラス	1年
			設定時期	通年
			回数	20回
			時間数	1回=1時限 50分
			時間数	20時間
目標	経営者の視点を理解し、よいサービスを実現したいという経営者の努力が理解できるようにする。視野を広げ顧客や社会 のための仕事を担う責任を理解出来るようになること。また、国家試験に合格できる知識を身に付けること。			
授業計画	運営管理	20h	1回	経営とは・経営者とは 経営が必要とされる理由・継続が難しい理由
			2回	経営とは・経営者とは 経営とは何か・経営資源と経営計画
			3回	経営とは・経営者とは 経営戦略・経営戦略が指すもの
			4回	理容業・美容業の経営について 業界の概要・競争の変化
			5回	理容業・美容業の経営について サービスとしての理容・美容
			6回	理容業・美容業の経営について 理容業・美容業の顧客について
			7回	資金の管理 資金管理の重要性・収支と損益
			8回	資金の管理 会計の考え方・コストを管理する
			9回	資金の管理 税金について
			10回	人という資源 人という資源とは・人の能力を高める
			11回	人という資源 人をやる気にさせるために・給与・待遇・福利厚生・労働者の権利
			12回	健康・安全な職場環境の実現 健康管理の基礎・理容・美容の仕事と健康
			13回	健康・安全な職場環境の実現 理容業・美容業に特徴的な健康課題・理容・美容の作業環境に関する健康問題
			14回	従業員としての視点から 社会人としての責任・理容業・美容業従業員としての責任
			15回	従業員としての視点から 社会保険①・社会保険②・社会保険③
			16回	従業員としての視点から キャリアプランの重要性・仕事をするうえで考えるべきこと
			17回	サービス・デザイン 顧客が求める価値・価値の実態
			18回	サービス・デザイン 顧客満足の実現のためのシステム・もっとも重要な価値：人
			19回	サービスデザイン 価値の多様性 顧客が求めるもの・サービスの範囲
			20回	マーケティング 理容業・美容業のマーケティング・マーケティングミックス
			授業方法	講義形式
評価方法	出席率10%・授業態度10%・期末試験80%で総合的成績評価とする。 考査は70点以上/100点で合格。70点未満は再試験を行う。			
教員紹介	担当教員は、美容師免許取得後、サロンに従事し、厚生労働大臣認定 日本理容美容教育センター主催の教員研修 で教員免許を取得。美容師としての実務経験を踏まえ、美容師養成に向けて授業を展開する。			
教科書	衛生管理(日本理容美容教育センター 発行)			
用具	筆記用具、ノート、レジュメ			
履修上の 注意事項	実際の美容業へ従事するイメージを持って講義を聞くようにする。			
	教科書に出てくる専門用語については自分でも予習としてしっかり調べること。			
	国家試験科目に含まれているので十分に要点を理解できるようにする。			

科目区分	専門科目(必修科目)			
授業名	運営管理		担当講師	
内容 (授業概要)	経営者の考え方や経営者が果たす責任・役割、人を雇うことの責任について学ぶ。また、顧客を満足させるサービスとは何か、それをどう実現できるかを考える力を養う。		学科	美容学科
			学年クラス	2年
			設定時期	通年
			回数	10回
			時間数	1回=1時限 50分
時間数	10時間			
目標	経営者の視点を理解し、よいサービスを実現したいという経営者の努力が理解できるようにする。視野を広げ顧客や社会のための仕事を担う責任を理解出来るようになる事。また、国家試験に合格できる知識を身に付ける事。			
授業計画	運営管理	10h	1回	マーケティング マーケティングミックスの要因 短期的要因①・短期的要因②
			2回	マーケティング マーケティングミックスの要因 長期的要因①・長期的要因②
			3回	マーケティング サービスのシステム化
			4回	サービスにおける人の役割 接客についての理解・よい接客の為に
			5回	サービスにおける人の役割 接客の実践①・接客の実践②
			6回	サービスにおける人の役割 接客の実践③・接客の実践④
			7回	サービスにおける人の役割 接客の実践⑤
			8回	サービスにおける人の役割 接客におけるトラブルと対応
			9回	サービスにおける人の役割 接客で発生が予想される問題
			10回	サービスにおける人の役割 問題を深刻化させないための対策・対処
授業方法	講義形式			
評価方法	出席率10%・授業態度10%・期末試験80%で総合的成績評価とする。 考査は70点以上/100点で合格。70点未満は再試験を行う。			
教員紹介	担当教員は、美容師免許取得後、サロンに従事し、厚生労働大臣認定 日本理容美容教育センター主催の教員研修で教員免許を取得。美容師としての実務経験を踏まえ、美容師養成に向けて授業を展開する。			
教科書	運営管理(日本理容美容教育センター 発行)			
用具	筆記用具、ノート、レジュメ			
履修上の 注意事項	実際の美容業へ従事するイメージを持って講義を聞くようにする。			
	教科書に出てくる専門用語については自分でも予習としてしっかり調べる事。			
	国家試験科目に含まれているので十分に要点を理解できるようにする。			